

市政に対する一般質問

九月議会では、十一日から十五日までの五日間で行われ、二十五人の議員が質問をしました。原稿は質問をした議員が要旨をまとめ、写真については再質問を行っているところです。



アルネ、十一月のリニューアル内容は

新風会 谷口圭三



質問 ↓市は、公社、財団等、多くの外郭団体を抱えているが、どういう視点で改革するのか。

答弁 ↓外郭団体は、九団体。団体の統廃

合と団体事務局の統合により、再編整理を検討していく。

質問 ↓収納率向上に対するの対策は。具体的な数値目標の設定が必要では。

答弁 ↓強化月間を四ヶ月設ける。専門家の知識の導入を検討。平成二十一年目標値を九十二％と設定。

質問 ↓街づくり会社再建の進捗状況と、十一月予定のリニューアルの内容は。

答弁 ↓赤字見込み九千万は、収入増四千万、経費削減五千万で対応予定。子供向け屋内施設サンヨープレジャー、山陽カルチャー教室開設予定で協議中。

公園管理について

新風会 松本義隆



質問 ↓住宅団地の公園等都市計画法に基づき整備された公共施設は、市町村の管理に属するとされているが、津山市ではなぜ開発者が公の施設である公園を

管理しなければならないのか。

答弁 ↓従来から都市計画法のただし書きに基づいて、公園等の公共施設は開発者が管理するように協議を行っている。

質問 ↓今後は開発者から無償譲渡を受け、地元は無償で管理委託しては。

答弁 ↓地元は無償で管理委託する事は市民と行政の協働による公園管理の観点から、今後関係者と協議、検討したい。

質問 ↓勝北町土地改良区への十九年度の助成金はどのようになるのか。

答弁 ↓土地改良区の助成金は十月に出される予算編成方針を見ながら、トータルの中で検討する。

第四次総合計画について

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓第四次総合計画は「しあわせ大國つやま」の実現に向け、どのように反映されているのか。

答弁 ↓総合計画は、それぞれの分野の課題と施策を体系的にまとめたもので

あるが、これらの施策を着実に実現していくことにより「しあわせ大國つやま」が実現できると考える。

質問 ↓総合計画で駅周辺整備の位置付けと整備の実施予定と目標年次は。

答弁 ↓第四次総合計画の津山駅周辺地区の環境整備事業と位置付け、関係機関や地元関係者との協議、調整が完了した時点で整備に着手する。

質問 ↓実質公債費比率は十八％を境目にして起債の発行が変わるが津山市はどうか。県内他市と比べてどうか。

答弁 ↓十八％を超えたので県知事の許可が必要。津山市は七番目の位置。